

平成21年度

決 算 報 告 書

自 平成21年4月 1日  
至 平成22年3月31日

国立大学法人 室蘭工業大学

平成 2 1 年度 決算報告書

国立大学法人室蘭工業大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,108	3,107	1	
施設整備費補助金	739	1,166	426	(注1)
補助金等収入	45	296	250	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	25	25	-	
自己収入	1,914	1,886	27	
授業料、入学料及び検定料収入	1,874	1,843	31	(注3)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	39	43	3	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	336	496	159	(注5)
引当金取崩	-	1	1	(注6)
長期借入金収入	310	274	35	(注7)
目的積立金取崩	227	244	16	(注8)
計	6,707	7,499	791	
支出				
業務費	4,595	4,538	57	
教育研究経費	4,595	4,538	57	(注9)
一般管理費	654	613	41	(注10)
施設整備費	1,074	1,466	391	(注11)
補助金等	45	296	250	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	336	427	90	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
計	6,707	7,342	634	
収入 - 支出	-	157	157	

## 予算と決算の差異について

- (注) 金額は、百万円未満を切り捨てているため、合計金額と一致しないことがあります。
- (注1) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった耐震・エコ再生事業が交付されたことにより、予算額に比して決算額が 426百万円 多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が採択されたことにより、予算額に比して決算額が 250百万円 多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成22年度入学者に係る授業料の前納額が減少したことにより、予算額に比して決算額が 31百万円 少額となっています。
- (注4) 雑収入については、不用物品売払収入の増加及び余裕金の運用利息の増加等により、予算額に比して決算額が 3百万円 多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めた結果、受託研究収入、共同研究収入及び受託事業収入等が増加し、予算額に比して決算額が 159百万円 多額となっています。  
なお、この産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、前年度よりの繰越額からの使用見込額として、予算額に 38百万円、同じく使用額として、決算額に 40百万円 が、それぞれ含まれております。
- (注6) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった引当金の使用により、予算額に比して決算額が 1百万円 多額となっています。
- (注7) 長期借入金収入については、学生寄宿舍整備事業費が予定額より安価となったことにより、予算額に比して決算額が 35百万円 少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった目的積立金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が 16百万円 多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、主として給与改定による人件費の減少により、予算額に比して決算額が 57百万円 少額となっています。
- (注10) 一般管理費については、給与改定による人件費の減少及び予算段階で計画した事業の見直し等により、予算額に比して決算額が 41百万円 少額となっています。
- (注11) (注1)及び(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が 391百万円 多額となっています。
- (注12) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が 250百万円 多額となっています。
- (注13) (注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が 90百万円 多額となっています。